

平成 31、令和元年度 すだちの家事業報告

1 はじめに

平成 31 年度 4 月は新規利用者なく 37 名でのスタートし、5 月に 1 名が退所、利用者数は 36 名となりその後の増減はありませんでした。定員 40 名に対し現在定員割れとなっています。

就労継続支援 B 型は各班工賃向上を目標に取り組み、平成 31、令和元年度の授産収益は前年度よりマイナスでしたが、支給工賃額はプラスで工賃向上計画の目標値を上方修正し再提出致しました。

1 月末にはインフルエンザの流行し、土日を含め 3 日間事業所を閉め終息しました。その後発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、出発前の検温を家族にお願いし、すだちでは検温を義務付け、手洗いの強化、手指アルコール消毒、マスクの着用、

3 密の配慮として食堂の座席数を減らす。送迎車内の定期的な換気を行う等対策を講じております。現状事業所内や家族、近親者等での感染報告はありません。

2 年間利用者数と利用料等の収入

- ① 就労継続支援 B 型事業（定員 40 名） 一日平均 33.2 名の利用 ※前年度 35.4 名
訓練等給付費 65,201,012 円 ※昨年度 69,995,196 円
処遇改善加算 3,390,161 円 ※昨年度 3,639,492 円

- ② 日中一時支援（地域生活支援事業）
7 時間利用で 5,000 円なので大体 63 名の利用
年間 316,050 円

- ③ 相談支援事業（地域生活支援事業）
平成 31、令和元年度は相談支援なく、0 件であった。

3 各作業班の反省（P、3～P、16 参照）

平成 31、令和元年度就労支援事業収入計 11,542,175 円 ※昨年度 11,558,990 円

4 利用者工賃

- ・ 総額 8,334,002 円（工賃支払い対象者延べ人数 431 名）開所日数 261 日
平成 31、令和元年度工賃実績額は月額 19,336 円で報告しています。
（昨年は平均月額 17,656 円でしたので 1,680 円アップしています。）
- ・ 利用者工賃規程により、毎月、月末日に現金で支給しています。経験年数によって、毎年わずかですが、全員日給（月給）が上がるようにしています。平成 30 年度からは新たに工賃規程を見直した規程を適用しており、評価については、支援の一環で行いますが、工賃には反映していません。

5 就労外就労・施設外支援・アフターケア

- ・ 施設外就労は施設外の作業を通じ第三者との関わりや買い物等で金銭管理を行うなど、就労意欲の

芽生えや社会経験の提供を目的として取り組んでいます。

- ・ 実習意欲がある方には、夕凧会（ケアハウス、グリーン・コム）で施設内外の環境整備として除草作業や掃除、シーツ交換を定期的に取り組んでいます。（現1名）
- ・ すだちの家から就職した方やその家族の方と定期的に会い悩み相談等聞く機会を設けるようにしています。（現2名）

6 各教室活動

- ① 絵画教室（第三土曜日午前）
- ② 音楽教室（第三土曜日午後）外部講師3名
- ③ トーンチャイム教室（第三土曜日午後）外部講師2名
- ④ 習字教室（第一木曜日午後）
- ⑤ 抹茶教室（第三木曜日午後）
- ⑥ 銭太鼓教室（第四木曜日午後）

7 行事

- 5月 家族会総会、運動会（山南公民館、山南スポーツ広場）
- 5月 障害者スポーツ大会（倉敷サンフラワーボウル、ボウリング競技 希望者3名）
- 6月 ボウリング大会（長船コーシンボウル）、家族会旅行（小豆島）
- 7月 地域の方との交流会（すだちの家）
- 8月 プール（山南拠点プール利用）
- 9月 利用者旅行（神戸フルーツフラワーパーク）
- 10月 秋のレクリエーション（正儀シーサイドスポーツ広場）
- 11月 小さな美術館作品展示（岡山ふれあいセンター）
- 12月 家族会忘年会（おさふねサービスエリア）
- 2月 お楽しみ会（新年会）
- 3月 ハイキング（宝伝海水浴場）⇒新型コロナウイルス感染防止策により自粛

8 権利擁護

- ・ 苦情解決制度を利用された件数は0件でした。日常的なやりとりの中で早期対応することが基本だと考えています。
- ・ 第三者委員会を年に1回定期開催し、必要に応じ第三者委員さんと連絡を取り合うようにしています。（令和2年2月5日開催）
- ・ 虐待防止の研修には積極的に参加し、その都度職員に周知するようにしています。また、職員、利用者にアンケートを実施し職員会議で話し合うようにしています。